

## 音楽科 中学校第2・3学年上カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	曲想の変化の理解と表現の工夫 ・曲の構成や曲想の変化を感じ取って歌おう。 「夢の世界を」	A (1) アウ	2	・前半と後半でリズムと音の重なり方が変化することによって、曲想の変化が生まれてくることを感じ取らせるため。	中学校第1学年 「心を伝えあう歌い方を求めて」	・リズムと旋律による曲想の変化をつかませる。	中学校2, 3学年下 「曲種に応じた歌い方の工夫」	
5	声部の重なり方の理解と表現の工夫 ・曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫しよう。 「翼をください」 「ここが分かれば、 Gradeup!」	A (1) ウ	2	・ユニゾンや和声的、多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取、それぞれにふさわしい表現を工夫するため。	中学校第1学年 「ハーモニーの美しさ楽しさ」	・自然な発声法の理解と習慣化を図る。		
	声部の重なり方の特徴を生かしてアンサンブルを工夫しよう。 「Time To Say Goodbye」	A (2) ウ	2	声部の重なりの特徴を生かして表現を工夫するため。	中学校第1学年 「ハーモニーの美しさ楽しさ」	・声部の重なりによるハーモニーの変化をつかませる。	中学校2, 3学年下 「混声合唱へのステップ」	
6	言葉を大切にしたい歌唱表現の工夫 ・言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫しよう。 「夏の思い出」	A (4) ア	2	言葉と旋律との関係を理解して表現を工夫するため。				
	アカペラの魅力 ・アカペラによる響きの美しさを味わおう。 「アカペラの合唱曲」 「Kum Ba Yah」 「My Melody」	B (1) ウ A (1) イ A (3) ア	3	声だけで美しいハーモニーを表現するため。	中学校第1学年 「言葉と歌声との関わり」	・言葉の表現が歌詞全体の表現につながるように。		
7	旋律線を生かして表現の工夫 旋律の動きを理解して表現を工夫しよう。 「夏の日の思い出」 旋律線を生かした表現	A (4) イ A (2) アイ			中学校第1学年 「詩と音楽との関わり」	・歌詞と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取らせる。		
	旋律を生かした表現の工夫 「Lesson 2」 カノン2～われは海の子～	A (2) アイ		旋律線を理解し楽曲の味わいを感じ取ってそれにふさわしい表現を工夫するため。				

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
9	言葉によるリズムアンサンブル リズムの反復、変化、重なりかたの面白さを味わおう。 「おうまがとおる」 曲のしくみ 「ここが分かれば Gradeup!」 言葉によるアンサンブル曲を創ろう。 「LetsCreate!」	A (1) イウ A (2) イウ  A (3) イ	3	・アンサンブルの素材となる言葉の抑揚やリズムを感じ取り、反復、変化、対照等の構成を理解して表現を工夫するため。	中学校第1学年 「旋律のまとまりと構成」	・リズムや旋律など音楽を形づくっているものについて知覚させる。		
10	動機の展開を伴う形式の面白さ 曲のしくみに注目して名曲を楽しもう。「交響曲第5番ハ短調」  日本の歌の美しさを求めて 曲のもつ情緒を味わいながら歌おう。「荒城の月」	B (1) アイ  A (4) イ	2  2	・モチーフ（動機）がどのように使われているかを探りながら「ソナタ形式」のしくみを理解し、それが西洋音楽の特徴の一つであることを知るため。 歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わい表現を工夫するため。	中学校第1学年 「物語を歌で表現」			
11	世界各地の歌声の特徴 ・世界各地の歌にふれ音楽や声の特徴を味わおう。 「世界の諸民族の音楽」 速度や強弱の変化を生かした表現の工夫 ・速度や強弱の変化を生かして多彩な表現を工夫しよう。「花の季節」	B (1) ウ  A (4) ア	2  2	・曲の特徴と声の音色との関わりを理解して鑑賞するため。  ・曲の魅力を支えている速度や強弱の働きを感じ取りそれらを生かして表現を工夫する。				
12	舞台芸術と音楽 ・オペラに親しみ、その音楽を味わおう。 「アイーダ」 ・日本の伝統音楽に親しもう。 「勧進帳」 「長唄：勧進帳にチャレンジしよう。」	B (1) アイ  B (1) イウ A (4) イ	2  3	・音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わい、その良さの根拠を言葉で説明したり、表現の工夫に生かしたりする。	中学校1学年 「情景と音楽との関わり」	・音楽を形づくっている要素の知覚を通してそれらの働きが生み出す良さや面白さに気付かせる。	中学校第2, 3学年 「名曲の鑑賞とプレゼンテーション」  「日本の伝統音楽の味わい」	
	2 混声合唱へのステップ ～さまざまな曲想の表現～	A (1) アイ ウ	3					
	3 学年末のまとめ		1					
	中学校第2学年		35					